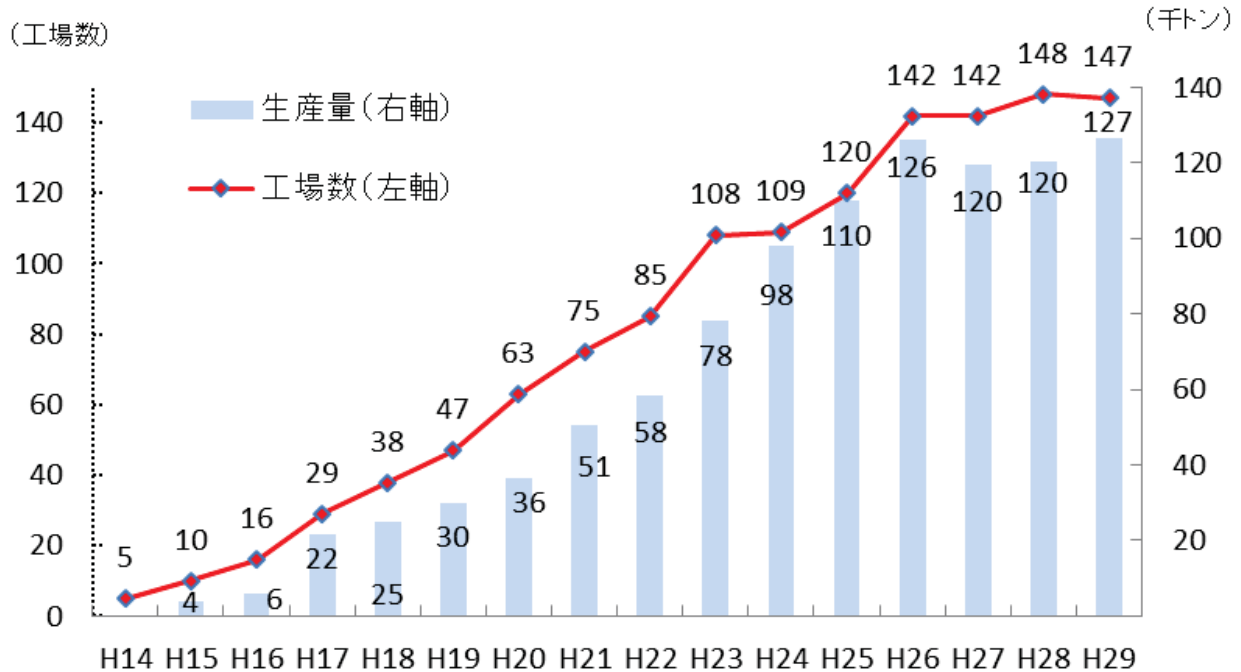


## 【参考資料】

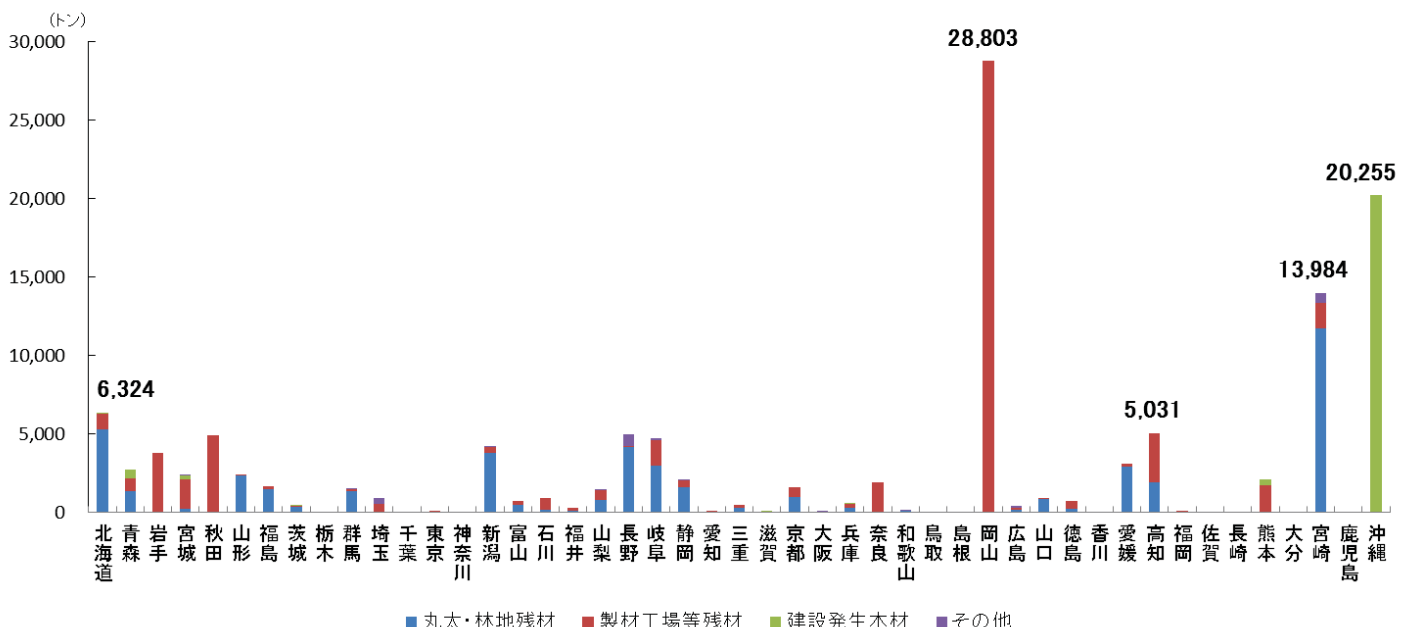
### 1. 木質粒状燃料(木質ペレット)生産量及び工場数の推移

- 平成29年における木質粒状燃料(木質ペレット)の生産量は、126,532トン(前年比105.3%、6,370トンの増)で微増。
- 平成29年における木質粒状燃料(木質ペレット)の工場数は、147(前年比1工場の減)。



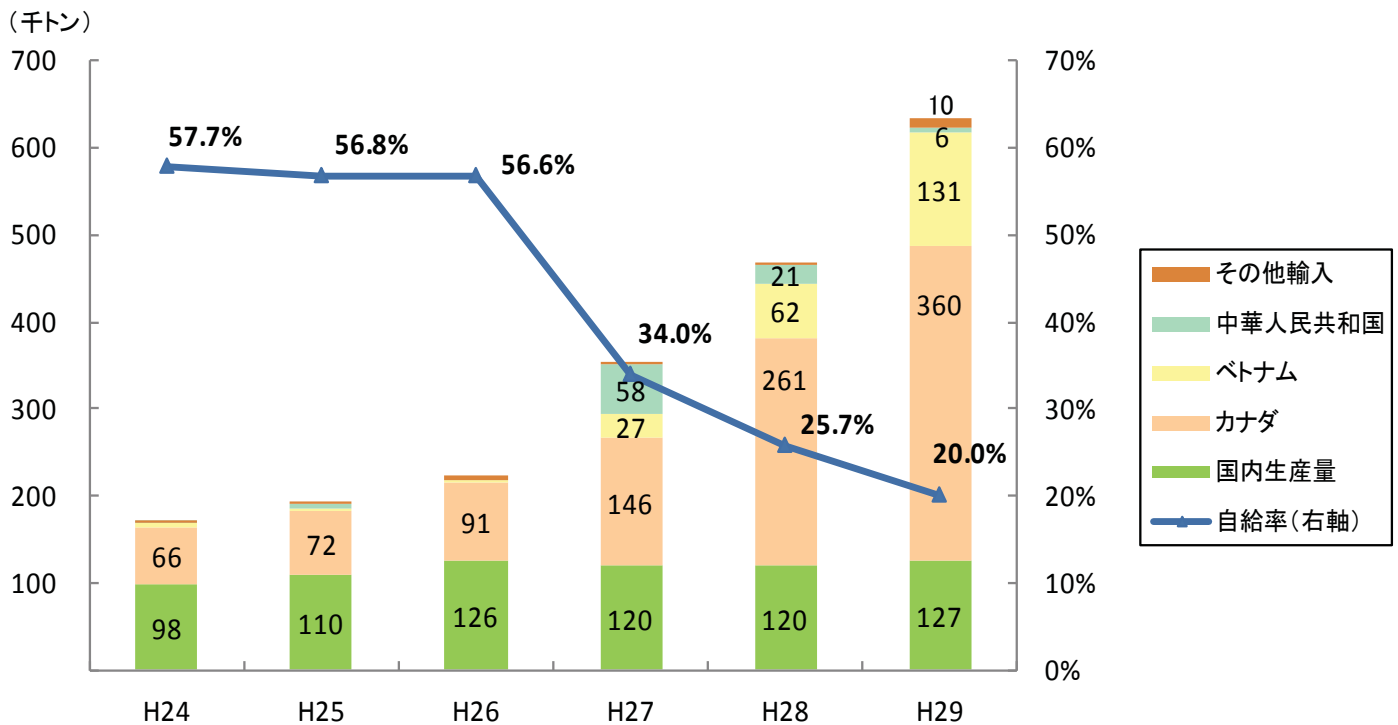
### 2. 都道府県別用途別生産量内訳

- 沖縄県や岡山県、奈良県など20府県では、生産量が計1.3万トン増加し、宮崎県や熊本県など18道府県では、生産量が計0.6万トン減少し、全体として生産量は0.6万トンの微増。
- 生産量の上位5県は、岡山(※製材残材中心)、沖縄(※建設発生木材中心)、宮崎(※丸太・林地残材中心)、北海道(※丸太・林地残材中心)、高知(※製材残材が主)。



### 3. 木質ペレットの生産量・輸入量の推移

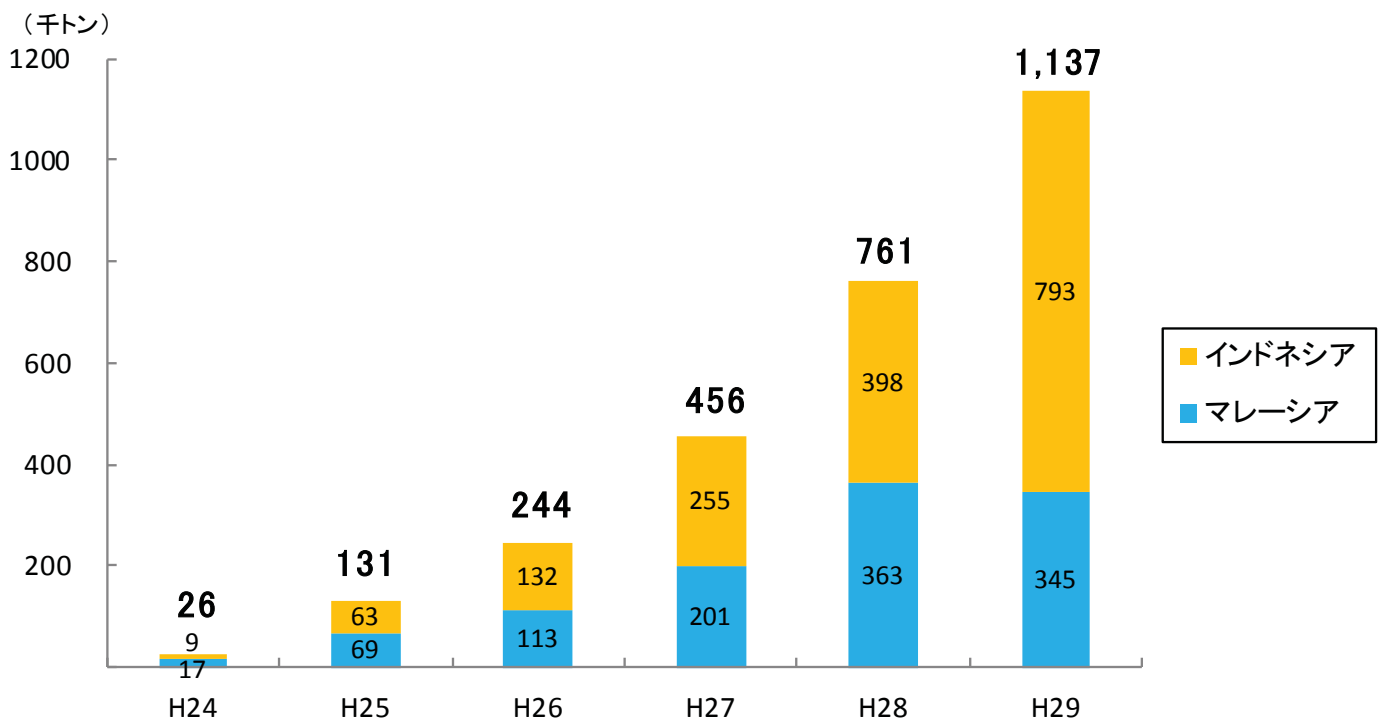
- 平成29年における木質ペレットの輸入量は、前年比46%増の50.6万トン。
- 木質ペレットの自給率は、前年比5.7ポイント減の20.0%へ下落。
- 主にカナダ、ベトナムからの輸入が増加。



※輸入量は「貿易統計」における木質ペレット(関税品目コード4401.31.000)の合計。

### 4. PKSの輸入量の推移

- 木質ペレットの代替燃料として競合関係にある燃料用のPKS(ヤシ殻)の輸入量は近年急増。
- 平成29年におけるPKS輸入量は、前年比49%増の113.7万トン。
- 主な輸入先国はインドネシアとマレーシア。



※「貿易統計」におけるパーム油かす及びパーム核油かす(関税品目コード2306.60.000)の合計。